

樫本興業 | 8052

東証プライム

Q1 Follow-up



Focus Point

モーターやチェーンなど動伝商品を中心とした技術商社。自動車・液晶の搬送装置などのFA関連も手掛けている。有資格技術者の育成採用を強化しており、顧客ニーズを拾い上げて、メーカーと新商品を共同開発する事業モデルが強い。

主要指標

株価 (8/15)	2,789
52週高値 (25/8/13)	2,830
52週安値 (24/8/5)	1,655
10年間高値 (25/8/7)	2,738
10年間安値 (16/6/28)	418
発行済株式数 (百万株)	19,494
時価総額 (10億円)	54.37
EV (10億円)	13.94
25.3 株主資本比率	43.4%
26.3 予想PER	10.7x
25.3 実績PBR	1.17x
25.3 実績ROE	11.2%
26.3 予想配当利回り	2.9%

株価チャート (日足・1年)



出所: TradingView

2026/3期Q1は好スタート。米国の関税影響は軽微。豊富な受注残を背景に会社計画を達成できる見込み

サマリー

樫本興業（以下、同社）は2025年7月25日に2026/3期Q1の決算を発表した。業績は2ケタ増収大幅増益と好スタートを切った。豊富な受注残高を受けて売上高・利益面で前年同期を大きく上回った。なお、前Q1は前々期の反動もあり一時的に落ち込んだが、今Q1業績は通常ベースに戻ったことに加え、豊富な受注残を受けた結果である。

2026/3期通期見通し

通期の業績見通しは売上高125,000百万円、営業利益6,350百万円など期初予想から据え置かれたが、達成は十分可能だとSIRは見ている。Q1時点での進捗率は同社上期計画に対し、おおむね会社計画並みで推移している。豊富な受注残があることや、米国の関税影響が軽微であることなどを加味すると、会社計画は達成可能であるとSIRは見ている。

株主還元

期初予定通り上期末20.0円/株、期末の60.0円/株。合計80.0円の配当を継続。配当性向は、30.7%と、同社が目標とする30%とほぼ同水準である。引き続き資金需要を踏まえつつ、機動的な自己株取得の実施等、さらなる株主還元の充実を目指す。

株価インサイト

今Q1の好業績を受けて足元はPBR1倍をキープしている。昨年以降、同社の株価を意識した株主還元策に投資家が注目し始めていると言える。実際、同社の株価は、対TOPIXでアウトパフォームしている。SIRとしては引き続きバランスシートの最適化を図りつつも、積極的な自社株買いの継続、もしくは配当性向の見直しなどにも期待したい。

百万円、%	売上高	YoY	営業利益	YoY	経常利益	YoY	当期利益	YoY	EPS	DPS
2022/3	96,890	8.1	4,396	33.9	4,762	25.5	3,177	16.1	169.19	50.0
2023/3	107,963	11.4	5,102	16.1	5,434	14.1	3,667	15.4	195.18	50.0
2024/3	113,503	5.1	5,233	2.6	5,577	2.6	4,000	9.1	212.9	60.0
2025/3	124,323	9.5	6,021	15.1	6,513	16.8	4,691	17.3	252.03	80.0
2026/3 会予	125,000	0.5	6,350	5.5	6,900	5.9	4,850	3.4	260.54	80.0
Q1										
2025/3	24,519	-6.1	725	-43.2	932	-35.8	568	-43.7	30.26	-
2026/3	30,502	24.4	1,520	109.6	1,753	88.0	1,205	111.8	66.65	-

出所: 同社有価証券報告書よりSIR作成

注1: 2024年4月1日に1株につき3株の分割を行っているため、23/3期以前を遡って修正

アナリスト 溝上 泰吏

research@sessapartners.co.jp



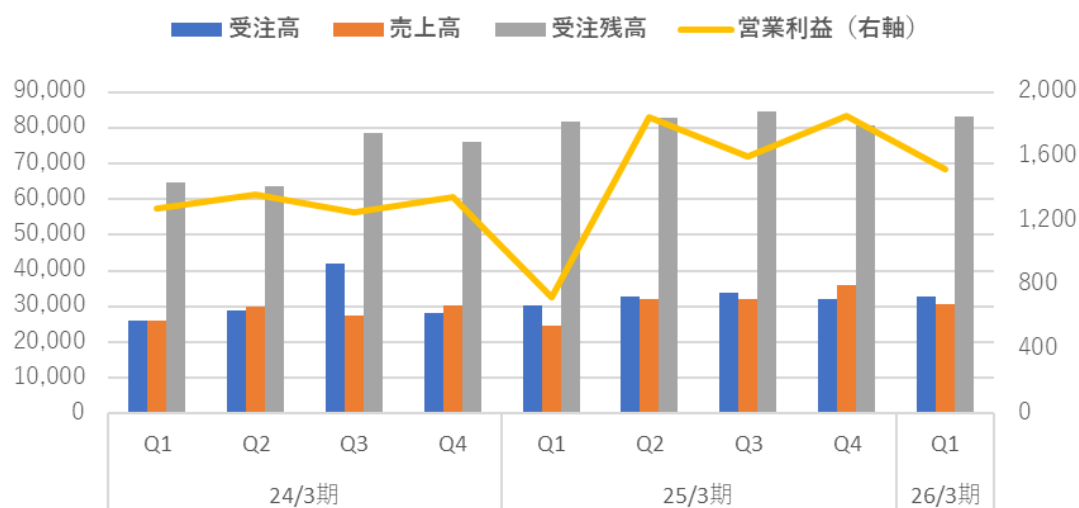
2026/3期 Q1実績

2025/3期Q1は2ケタ増収大幅増益

受注高は前年同期比8.1%増の32,738百万円、受注残高も同1.3%増の82,993百万円と、ともに前年同期を上回った。売上高は同24.4%増の30,502百万円と大幅増収となったことから利益面が大幅増益となった。営業利益は同2.1倍の1,520百万円、経常利益も同88.0%増の1,753百万円、親会社株主に帰属する純利益（以下、当期利益）も同2.1倍の1,205百万円となった。

また、会社計画の上期売上高62,500百万円、営業利益3,170百万円、経常利益3,450百万円、当期利益2,420百万円に対し、進捗率は売上高で48.8%、営業利益で47.9%、経常利益で50.8%、当期利益で49.8%と、それぞれ会社計画並みで順調に推移している。

四半期別連結業績推移（百万円）



出所：同社IR資料よりSIR作成

連結業績の達成状況

百万円	2025/3期 Q1	2026/3期 Q1	YoY (%)	期初計画 上期	期初計画比
受注高	30,277	32,738	8.1%	-	-
受注残高	81,903	82,993	1.3%	-	-
売上高	24,519	30,502	24.4%	62,500	48.8%
営業利益	725	1,520	109.6%	3,170	47.9%
営業利益率	3.0%	5.0%	-	5.1%	-
経常利益	932	1,753	88.0%	3,450	50.8%
経常利益率	3.8%	5.7%	-	5.5%	-
当期利益	568	1,205	111.8%	2,420	49.8%
当期利益率	2.3%	4.0%	-	3.9%	-
EPS	30.28円	65.65円	-	130.00円	50.5%
配当	-	-	-	20.00	-

出所：同社IR資料よりSIR作成

注：SIRでの財務データ処理は短信規定と異なるため記載数字は会社資料と相違することがある。

セグメント別 業績

●東日本本部：北海道・東北・甲信越・関東地区（連結売上高の35.2%）

受注高は前年同期比14.5%減の9,278百万円とセグメント別では唯一マイナスとなったが、売上高は同21.1%増の10,770百万円。動伝部品は、半導体製造装置関連部品が弱含んだものの、産業全体に対する部品が堅調だったことで増収。設備装置関連は豊富な受注高をこなし増収。増収効果もありセグメント営業利益（以下、営業利益）は同61.8%増の694百万円。セグメント利益率は、同1.6ポイント改善し6.4%であった。受注残高は同7.2%減の25,436百万円と6四半期ぶりにマイナスとなった。

●西日本本部：北陸・関西・中国・四国・九州地区（同38.6%）

受注高は同38.3%増の14,706百万円とセグメント別では最も伸びた。売上高は、同51.5%増の12,642百万円。動伝部品は、引き続き需要が強く受注高が増加し、順調に推移。設備装置関連は、前期後半の大型受注が継続。豊富な受注残を順調にこなし売上計上となった。この結果、営業利益は同2.2倍の847百万円となり、2四半期連続で東日本本部の営業利益を上回った。セグメント利益率は同2.0ポイント改善し6.7%。受注残高は同3.4%増の42,428百万円となった。

●中日本本部：東海地区（同12.9%）

受注高は同5.4%増の5,511百万円と順調に伸びた。売上高は同7.3%増の4,041百万円。動伝部品は、自動車関連業界を中心として堅調に推移した。設備装置関連は、重工業や自動車関連、食品業界向け等、豊富な受注残をこなし、増収となった。営業利益は同6.9%減の202百万円。セグメント利益率は同0.8ポイント悪化し5.0%。受注残高は同10.4%増の10,389百万円となった。

●開発戦略本部：海外ビジネスやマテリアルビジネス（同13.3%）

受注高は同10.5%増の4,442百万円となった。売上高も同7.2%増の4,300百万円となった。海外子会社の受注高及び売上高は、回復傾向にあるものの、勢いが弱く前期並みの水準。マテリアルビジネスは、前期後半に受注高がボトムを付けたことで回復傾向に転じ、売上高も増加した。新規事業であるセンシング・画像処理ビジネスの売上高は前年同期並みで推移した。中でも新規事業の中のセンシングは工場や倉庫の省力化に貢献できることから、引き続き今後の動向に注目したい。増収を受け、営業利益も同25.0%増の120百万円となった。セグメント利益率は同0.4ポイント改善し2.8%。受注残高は同9.2%増の7,310百万円だった。

セグメント別業績

百万円	2025/3期 Q1	2026/3期 Q1	YoY (%)	百万円	2025/3期 Q1	2026/3期 Q1	YoY (%)
受注高	30,277	32,738	8.1	売上高	24,519	30,502	24.4
東日本本部	10,853	9,278	-14.5	東日本本部	8,890	10,770	21.1
西日本本部	10,631	14,706	38.3	西日本本部	8,344	12,642	51.5
中日本本部	5,229	5,511	5.4	中日本本部	3,765	4,041	7.3
開発戦略本部	4,020	4,442	10.5	開発戦略本部	4,012	4,300	7.2
調整額	-456	-1,200	-	調整額	-493	-1,253	-
受注残高	81,903	82,993	1.3	営業利益	725	1,520	109.6
東日本本部	27,406	25,436	-7.2	東日本本部	429	694	61.8
西日本本部	41,021	42,428	3.4	西日本本部	390	847	117.2
中日本本部	9,408	10,389	10.4	中日本本部	217	202	-6.9
開発戦略本部	6,697	7,310	9.2	開発戦略本部	96	120	25.0
調整額	-2,631	-2,570	-	調整額	-408	-344	-

出所：同社IR資料よりSIR作成

2026/3期 通期業績予想

2026/3期の通期業績見通しは、期初予想の売上高125,000百万円、営業利益6,350百万円が据え置きとなった。Q1時点でおおむね会社計画並みで推移しており、上期見通しの達成は可能な状況だ。下期は半導体関連向けの回復の遅れが気になりとなるが、自動車向けや重工業向けが引き続き回復が期待できることに加え、食品関連向けの順調な増加が見込める。また、豊富な受注残を背景に、保守的に想定されている会社見通しは達成可能であるとSIRは考える。

セグメント別では、これまで開発戦略本部が低迷していたが、今期は回復基調に転じたことに加え、東日本本部・西日本本部・中日本本部が、引き続き堅調に推移する見通しである。気になりなのは東日本エリアで一部の自動車メーカーの減産を受け受注面が伸び悩んでいることだ。ただ、西日本エリアや中日本エリアは引き続き受注が好調に推移する見通しであることでカバーし、受注残も増える見通しである。

2026/3期以降の業績については、米中貿易問題解決に期待しつつ、中国の半導体関連の設備投資復活が待たれるが、自動車関連の回復が期待でき、航空機や防衛関連など重工業関連の増加傾向が続く見通しである。また、設備自体や案件が大型化していることで採算性が改善してきており、同社の収益動向にも引き続き注目したい。

2026/3期 計画達成の進捗状況

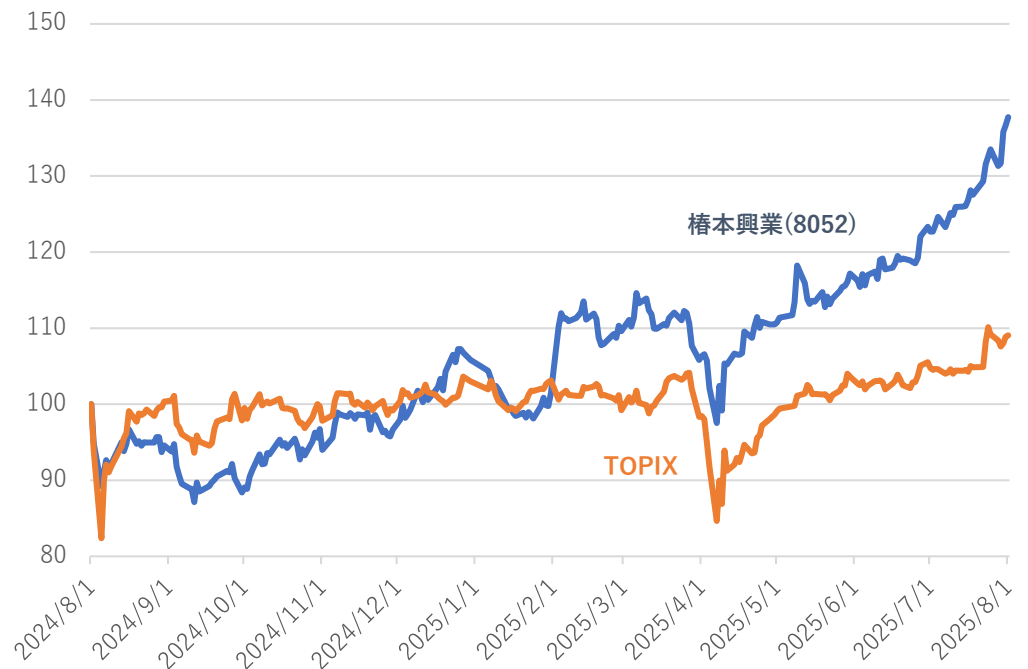
百万円	2026/3期	対予想	2025/3期	2026/3期予想			
	Q1	進捗率(%)		実績	今回	YoY(%)	修正額
売上高	30,502	24.4	124,323	125,000	0.5	125,000	0
営業利益	1,520	23.9	6,021	6,350	5.5	6,350	0
営業利益率(%)	4.7		4.8	5.1		5.1	
経常利益	1,753	25.4	6,513	6,900	5.9	6,900	0
経常利益率(%)	5.2		5.2	5.5		5.5	
当期利益	1,205	24.8	4,691	4,850	3.4	4,850	0
当期利益率(%)	3.6		3.8	3.9		3.9	
EPS (円)	65.7	25.2	252.03	260.5	3.4	260.5	0

出所：同社IR資料よりSIR作成

株価インサイト

同社が2024年11月28日に自社株買いを行い、株価を意識した株主還元策を投資家に示して以降、同社株は対TOPIXに対しアウトパフォームとなっている。さらに、2025年5月21日の決算説明会において自社の株価を意識した説明を行ったことで同社の株価対策が投資家等に浸透し始め、その後の株価は堅調に推移している。更に7月25日に発表した2026/3期Q1の好業績を受けて、同社株はPBR1倍を維持している。積極的なIR活動に加え、引き続きバランスシートの最適化を図りつつも、自社株買いの継続、もしくは配当性向の見直しなどにも期待したい。

相対チャート（対TOPIX,直近1年）



出所：SPEEDAよりSIR作成

LEGAL DISCLAIMER

ディスクレター／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp